

保護者負担軽減計画について

<京都府提出資料>

学校名	日星高等学校
所在地	京都府舞鶴市字上安久381番地
電話番号	0773-75-0452

<p>(1) 建学の精神</p>	<p>「小さき者とあれ」の建学の精神のもと、自分の力を他者のために活かせる人物の育成を目指し、トリック精神に基づく全人教育を行う。</p>																																							
<p>(2) 本校の特色及び将来展望</p>	<p>本校は、普通科総合コース・特進コース、看護科5年課程で構成している。普通科では、生徒一人ひとりに対応した丁寧な教育指導と進路実現のためのグレードアップを図るとともに、新指導要領実施に対応した新しい教育課程を展開する。看護科では、近年、看護師国家試験合格100%の目標を達成しており、引き続き、病院や介護施設等との一層の連携を図るとともに、地域医療を担う人材を安定的に供給できる教育機関として充実を図っていく。本校の教育の特色は、京都府北部でいち早く整備した最先端のICTによる“AL × AL by ICT”で、自ら課題を見出し、周りの人と協力をして解決する力をつける「21世紀型の学び」の実現である。また、令和6年4月からは、文部科学省の「新時代に対応した高等学校改革新進事業（普通科改革支援事業）」私立学校としては唯一採択された。「創造と探究」を教育の軸に据え、地域や企業、行政機関等の連携・協力による特色ある魅力的なカリキュラムの開発を通じて、普通科の改革を推進する。</p>																																							
<p>(3) ・令和7年度納付金</p> <p>※学科やコースによって納付金に差異がある場合は最低額を計上。</p> <p>・今回改定 あり なし</p> <p>・前回改定 平成31年度</p>	<table border="1" data-bbox="772 1041 1871 1451"> <tr> <td rowspan="2">【1年生】</td> <td>入学金</td> <td>施設拡充費 (入学時)</td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計 (入学時除く)</td> <td>審査料</td> </tr> <tr> <td>50,000</td> <td>70,000</td> <td>492,000</td> <td></td> <td>492,000</td> <td>15,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【2年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>492,000</td> <td></td> <td>492,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">【3年生】</td> <td></td> <td></td> <td>授業料</td> <td>施設拡充費等 * (経常的)</td> <td>計</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>492,000</td> <td></td> <td>492,000</td> <td></td> </tr> </table> <p>*施設拡充費等には、施設拡充費、校費、実験実習費、冷暖房費等の入学金、授業料及び検定料以外の納付金で、学則に定めのあるものすべてを含む。ただし、PTA、生徒会等、学校法人とは別団体に属する経費、任意寄附金及び給食費は除外。</p>	【1年生】	入学金	施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料	50,000	70,000	492,000		492,000	15,000	【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				492,000		492,000		【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計				492,000		492,000	
【1年生】	入学金		施設拡充費 (入学時)	授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計 (入学時除く)	審査料																																	
	50,000	70,000	492,000		492,000	15,000																																		
【2年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			492,000		492,000																																			
【3年生】			授業料	施設拡充費等 * (経常的)	計																																			
			492,000		492,000																																			
<p>・今後の納付金に対する考え方</p>	<p>通学圏内中学校生徒数の急減等により生徒確保が厳しく、財政的に厳しい状況下ではあるが、安心して学べる教室づくりや、地域を巻き込んだ先駆的な教育の展開、個々の学力や進路希望に対応した教育内容等により、学校の魅力アップや生徒の満足度を向上させることにより生徒確保を行い、経営安定を図る。一方、近年の物価やエネルギー、人件費の急騰により、納付金の改定もやむを得ないと考え、教育内容改革による生徒確保や補助金獲得に努め、納付金の上昇を抑える。</p>																																							
<p>(4) 教育内容、施設整備の改善・拡充等の状況</p>	<p>教育内容 総合コースは、入学生徒の学力幅が非常に大きい。英語・数学の習熟度別授業やICTを活用したアダプティブラーニングに取り組んでいる。又、学び直しを必要とする生徒も多いため「学習支援センター」を設置し、基礎学力の定着や進路を切り開く力をつける指導を充実させている。令和6年度よりコーディネータを採用し、生徒が地域を学びのフィールドとした探究活動を支える環境をさらに充実させた。社会に積極的に参画し、様々な年代の人々と交流しながら自己有用感を高め、地域財産や文化を深く理解し、地域に貢献する人材の育成を目指す。ICTを駆使した産官学民の連携によりDXを推進する。特進コースは、難関大学進学のために指導スタッフの充実と海外留学を推奨し、毎年数名が半年・1年の留学に出てグローバルな視野を獲得を目指している。また、探究学習を通して学ぶ意味について考えることにより、大学進学につなげている。看護科は、教員が積極的に研修を行い「協同学習」や「ICTの活用」により主体的に学ぶ生徒の育成を目指している。「学習室」を整備し、国家試験に向けての学習や協同学習の場としている。</p> <p>施設設備の改善・拡充等 2016年度に看護科及び東校舎のICT環境整備（WiFi設置、ICT機器の整備）、2017年度に本館のWiFi化やプロジェクターの全教室設置が完了。AI時代を見据え、1年生よりiPadを持ち、北部屈指のIT環境を活用し、分かる授業や反転授業につなげている。また、現校舎等の老朽化に対応するため、2022年度にLED、2023年度に省エネ型空調設備を導入するなど環境への配慮も視野に入れた整備を進めている。</p>																																							
<p>(5) 令和7年度の保護者負担軽減策及び考え方</p>	<p>国の「高等学校等就学支援金」及び京都府の「あんしん修学支援事業」「学費軽減補助」を活用し、保護者負担の軽減に取り組む。 加えて、下記の学校独自の奨学制度等により、保護者の負担軽減を図る。 ○学力特待生（S特待、A特待、B特待） ○スポーツ奨学生（スポーツS、スポーツA） ○日星奨学生</p>																																							
<p>(6) 今後5年程度の保護者負担軽減計画</p>	<p>具体的な負担軽減計画は有していないが、引き続き、国・府の学費支援制度の動向を注視し、周知・活用を図っていく。併せて、教育改革による生徒確保など、収入の安定・増加のほか、学年諸費の見直しなど学費以外の経費抑制等に努め、保護者負担軽減を進めていきたい。</p>																																							